

# 認知症初期集中支援チームについて

## 【認知症初期集中支援チームとは】

認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援を包括的・集中的(概ね6か月)に行うことで、自立生活のサポートを行う複数の専門職によるチーム

「初期」の意味は  
病気の早期段階の意味だけでなく、  
認知症の人への関わりの初期  
(ファーストタッチ)という意味をもつ

## 【実施主体と支援チームの構成】

- 実施主体:市町村(地域包括支援センター、診療所、病院、市町村の本庁等)

市川市では、福祉部地域包括支援課に設置(直営)

- チーム構成:医療と介護の専門職 2名以上 + 専門医1名以上  
(保健師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士 (認知症サポート医嘱託可)  
社会福祉士、介護福祉士等)

市川市では、専門医3名+専門職7名で計2チームを設置  
(令和6年度4月1日現在)



## 【認知症初期集中支援チームの対象】

40歳以上で在宅で生活しており、かつ認知症が疑われる人または認知症の人で以下の1)、2)いずれかに該当する者

1) 医療・介護サービスを受けていない人、または中断している人で以下のいずれかに該当する者

(ア) 認知症疾患の臨床診断を受けていない者

(イ) 継続的な医療サービスを受けていない者

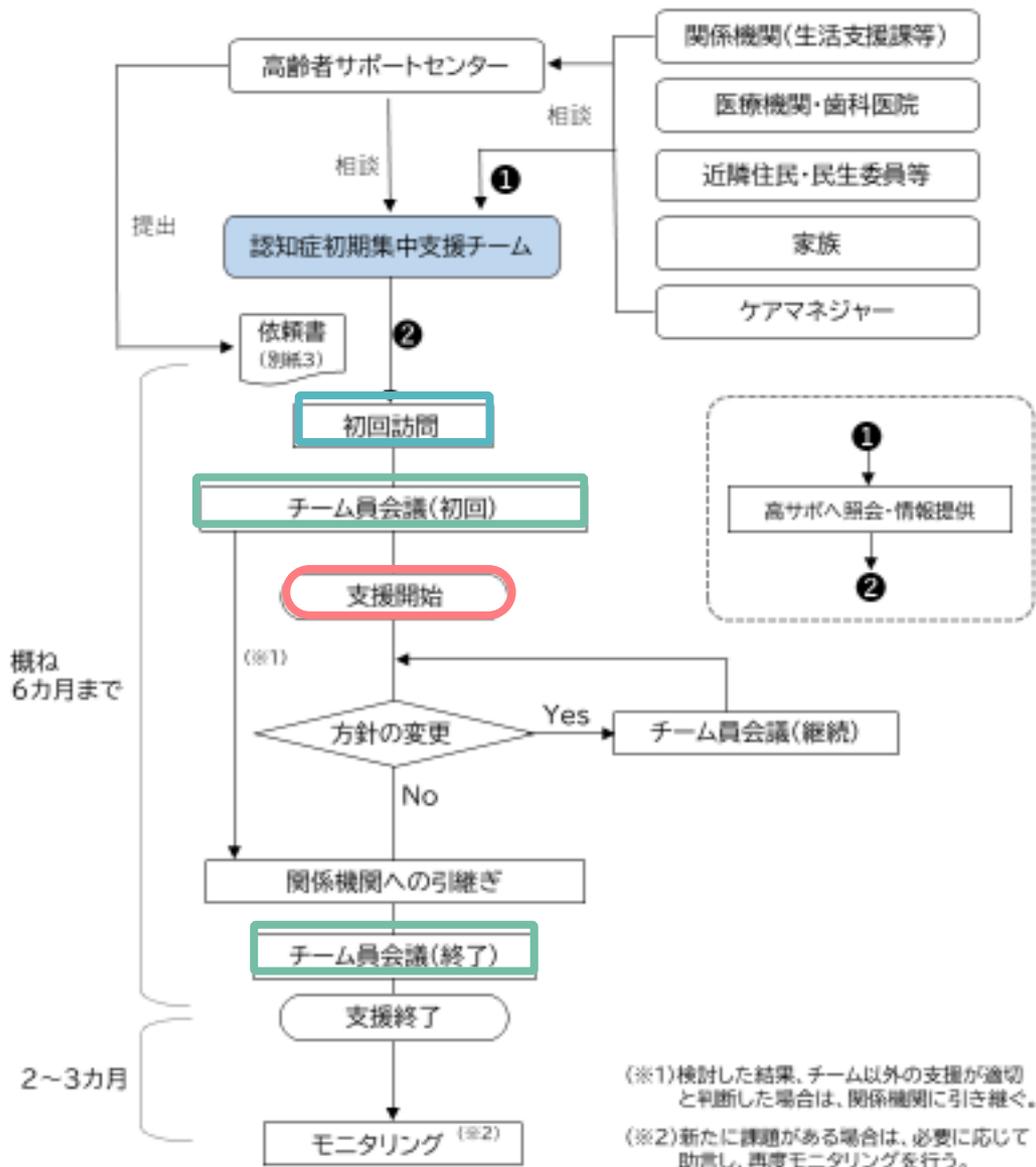
(ウ) 適切な介護保険サービスに結び付いていない者

(エ) 診断されたが介護サービスが中断している者

2) 医療・介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため、対応に苦慮している者

市川市のチームで受ける依頼は、ほとんどが1)に該当

# 【市川市認知症初期集中支援チームの支援の流れ】



## 初回訪問

医療、介護専門職によるアセスメント訪問を実施

## チーム員会議

アセスメント結果に基づき、チームの支援方針を決定

## 支援開始

医療、介護専門職による初期集中支援の実施(アウトリーチ)

対象者の状態に合わせ

- ▶ 医療機関受診に向けた動機付け
- ▶ 適切な介護サービス利用の勧奨・誘導
- ▶ 生活環境の改善
- ▶ 家族支援 等を行う